

地域労働市場の構造と外国人労働者雇用

本調査研究は、地域労働市場に関する理論的・実証的研究と外国人労働者に関連する統計データを分析することにより、平成 5 年度の報告書において手薄な部分を補完することが可能となった。

本報告書は、外国人労働者をめぐる多岐にわたる問題のなかから最も基本的な問題を取りあげた。現時点では、日本の産業構造の変化と生産の海外化が日本の雇用状況を大きく変えようとしている。このような巨大な波動に取組む際の基本視角と基礎的手法を提供するものである。

◆研究委員会メンバー

- 〈主 査〉依 光 正 哲 一橋大学 教授
〈委 員〉佐 野 哲 日本労働研究機構 研究員
山 本 恭 逸 (社)社会経済国民会議 国際経済政策部
大 竹 和 正 全国中小企業団体中央会 指導流通部
川 辺 由 紀 子 一橋大学社会学部

◆目 次

- 第 1 章 地域労働市場の基礎分析
第 2 章 外国人労働者の雇用問題
第 3 章 外国人労働者の離転職動向 — A市を中心とした地域での事例 —
第 4 章 外国人労働者の生活環境の整備
資 料 本研究に使用した主要データ